

高度外国人材雇用の有無(Q1)

		雇用している	雇用していない	無回答
全体	2,330	25.5	74.0	0.5

高度外国人材の雇用人数(Q1SQ)

		1人	2人	3人	4~9人	10人以上	無回答	平均(人)
全体	594	27.4	17.3	11.4	15.7	16.2	12.0	9.62

高度外国人材活用・定着に向けて最も大きな課題(Q2SQ1)

		仕事の内容の明確化(ジョブディスクリプション整備)	キャリアアップできる環境になっているか	自身の専門性を生かせる部門への配置・異動	昇給のための基準の明確化	能力・業績に応じた報酬	メンター制度をはじめ各種相談体制の充実度	ワーク・ライフ・バランスの達成のしやすさ	ICTの活用など業務の効率化	テレワークなどの柔軟な働き方	英語などでも働ける就業環境の整備	福利厚生充実	異文化に対する日本人社員への教育機会の充実	異文化交流の機会の促進	人事担当部の多言語対応力の強化	その他	無回答
全体	594	17.7	22.4	19.5	2.2	4.2	5.9	1.9	0.3	0.7	6.7	0.3	5.4	1.0	2.9	3.7	5.2

高度外国人材採用に向けて最も大きな課題(Q3SQ1)

		募集するノウハウ不足	人事担当部の多言語対応力の不足	社内の多言語化対応の不足	外国籍社員に対する日本人社員の抵抗感	経営層のコミットメントが得られにくい	高度外国人材の希望する報酬水準と折り合えない	日本人社員の報酬水準との均衡が困難	日本人と比較して、教育等に追加的なコストや手間を要する	高度外国人材の希望する働き方と折り合えない	入国管理制度に関する手続きに対応できない	高度外国人材の専門性を生かすノウハウが足りない	外国人社員の採用は特段予定していない	求める日本語能力水準をもった人材がいない	その他	無回答
全体	1,725	7.9	3.1	9.0	1.2	0.6	2.1	0.6	3.8	4.2	1.3	7.0	39.8	2.7	6.3	10.4

高度外国人材の採用動機/従来の採用動機として最も大きなもの(Q4SQ1) ※回答があった企業のみ集計

		国籍に関わらず、採用した結果	海外取引・海外事業の拡大のため	海外取引・海外事業の業績の改善のため	ダイバーシティ推進によるイノベーションの創出のため	専門的な知識・技能を生かした生産性向上のため	日本人社員のグローバル化を促すため	求める専門性を持つ日本人社員の確保が困難	研究開発事業の拡大のため	研究開発事業の業績の改善のため	その他
全体	1,707	22.0	31.1	2.9	6.8	9.8	3.9	18.0	1.1	0.2	4.2

高度外国人材の担当職種／将来担当させたい職種(Q5)

		企業等の経営者・管理者	弁護士	公認会計士	研究者	語学教師	機械工学等の技術者	通訳	秘書	マーケティング関係の事務	貿易関係の事務	人事・総務・広報	プログラマー、システムエンジニア	その他	無回答
全体	2,330	7.5	1.1	0.6	8.8	1.5	18.2	14.5	0.7	19.8	21.1	7.0	20.4	18.8	22.9